

16. 現在の変動が読みとれる「八丁沖」

(長岡市福島町周辺)

「八丁沖」は、明治初めまで福井町・福島町・浦瀬町の間にあった湿地・沼地。
北越戦争（1968年）で長岡城を奪還するため長岡勢が行軍したことで有名。
湿地・沼地になった原因は地殻のたわむような沈降運動。

同じ運動により耳取町付近の小丘がゆるく凹型に変形。

低地・湿地 水田。 / 旧自然堤防と考えられる帯状の微高地 集落。

